

“名東児童館の移動児童館” を取材しました！

「チーム名東」は、2008年11月29日に障害者スポーツセンターで行われた「名東児童館の移動児童館」を取材しました！取材者は椛山女学園大学教育学部1年生の大村理恵・恒川典子です。



このイベントは、名東児童館が主催したもので、100名以上の幼児～中学生と保護者が参加しました。イベントは1時の受付に始まり、その後、体育館や工作室にて自由遊び。体育館ではドッチボール・卓球・バドミントン・テニス・縄跳び・フラフープなどを楽しみ、工作室では、ぬりえ・人生ゲームEX・パズル・野球版・ジェンガ・囲碁・トランプなどを楽しみました。そして最後に淑徳大学大学祭実行委員による集団遊び企画があり、15時に終わりました。

主催者の方に、このイベント開催の趣旨について伺ったところ、「児童館の存在を地域の方々に知っていただき、子どもたちには遊び場を、保護者の方々には情報交換の場を提供したいと考えて開催しています。あと、名東区には転勤族の方が多いので、その方たちが孤立していかないようにとも考えています」とのこと。今年から始めたイベントで、今回が2回目。前回は乳児・幼児を対称に9月に行ったそうです。

取材してみて、このイベントの良かったと思う点は以下のとおりです。「参加者が多かったこと」「遊び道具の種類が多かったこと」「子どもが思い切り遊べる場であったこと」「異年齢の子どもたちが一緒に遊べるようになっていたこと」「保護者同士が話している様子が多く見られ、情報交換の場になっていたこと」です。



まだ2回目のイベントお聞きしていましたが、思っていたよりも参加者が多く活気のあるイベントでした。自由遊びだけでなく、淑徳大学の学生が集団遊びも提供してくれて、会場には一体感が漂い、楽しい雰囲気を楽しむことができました。